

若者円卓会議

(担当) 連携推進課



vol. 7
寛容な地域づくり

地域プロジェクトマネージャー
國重 咲季 くにしげ さき



円卓会議を始めて1年が経ちました。先日開いた会議で、「今までは周りにどう思われるか怖くて発言できなかったけれど、ここなら安心して意見が言える」と言ってくれたメンバーがいました。地元出身進学を機に他県で暮らした後Uターン。しかし人と違うことをすると否定された経験から、地元に対し後ろ向きな思いを抱いていたそう。そんな時に円卓会議に出会い、誰もが臆せず意見を言う様子、自分らしく生きるメンバーの姿を見て、地元に対して前向きな気持ちになれたと言います。その場にいたメンバーも共感し、他の場所になくて円卓会議にあるのは「誰もが自分の意見を持つ」「相手を否定せずに聞く」という空気感だ、という話になりました。

にかほ市、そして全国の地方で、20代前後で転出する人が多いという傾向が見られます。こういう話をすると必ず聞こえてくるのが「仕事がないからだ」「働く場所をつくらないと」という声。果たしてそれだけが原因でしょうか？人口減少は「寛容性の低さ」と大きな相関がある、と2021年のLIFULL HOME'S総研の調査が明らかにしました。寛容性の低さとは、変化を受け入れない、女性の生き方や家族のあり方について固定観念が強い、同調圧力が強い

などを総合的に判断した指標です。つまり、異なる考え、新たな価値観を否定する空気が、地域から人を遠ざけてしまうのです。

誰もが自分らしく意見を言え、否定せずに異なる意見を認め合える、つまり心理的安全性の高い場が、新たな挑戦を生み、変化し続ける柔軟で寛容な地域をつくると思います。対話を繰り返すことで社会は少しずつ変わるという信念のもと、円卓会議に取り組んでいます。空気は人がつくるもの。窮屈にするのも寛容にするのも、暮らしているわたしたち一人ひとりに委ねられています。すぐには変わらなくても、凝り固まった空気は少しずつほぐれていくはず。まずは身近な人と、否定せずに互いの意見を聞き合うような関係を築くことから、一緒に空気をつくりませんか？



▲円卓会議のメンバーたち

円卓会議委員募集中！

右のQRコードから公式LINEに登録し、ご連絡ください。



鳥海山・飛島ジオパーククリレーコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～ vol. 136

『校歌の中のジオパーク』

新学期が始まってほぼ1カ月が経ちました。新入生の方々も、学校生活に慣れてきた頃ではないでしょうか。

ほとんどの小中学校には校歌があります。校歌には、歌を通じて生徒や先生達の気持ちを一つにまとめ、連帯感を強める役割を持っていますが、この校歌の歌詞の中には故郷の様々な魅力つまりジオパークの見どころが隠れています。



一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会
事務局次長兼主任研究員
おのの まれかず

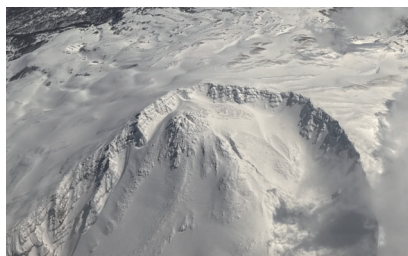
大野 希一 さん

鳥海山・飛島ジオパークのエリア内にある62の小中学校の校歌の歌詞を調べたところ、「鳥海」「鳥海山」という言葉が歌詞に登場する学校は約80%に達しました。鳥海山は故郷を代表する山であると同時に、憧れであり、未来の希望の象徴として表現されることが多いですが、中には「鳥海

山を追い越す位に大きく成長してほしい」という願いを込めたものもあります。

また、歌詞の中には海や川、山などの地球の活動が長い年月をかけて作り出した景観や、風や雲といった季節を感じさせる言葉、さらには鳥や魚などの生き物が多く登場し、歌を通じて生徒に故郷の素晴らしい情景を伝えようとしています。

今まさに校歌を覚えている人、校歌を歌う機会がほとんどない人、母校の校歌の歌詞を思い起こしてみませんか？そこにはきっと、ジオパークの見どころがたくさん隠れています。



▲空から見る鳥海山の山頂。この山の美しさは、地元の小中学校だけでなく、秋田県歌や横手高校の校歌にも歌われています。

希望と夢に満ちあふれた新入生たち 市内4小学校入学式

4月10日、市内4小学校で入学式が行われました。桜が満開の中、希望に満ち溢れるも少し緊張した面持ちで真新しいランドセルを背負い、わくわくどきどきで初登校した新入学児童たち。式中、担任の先生から名前を呼ばれると新入生たちは大きな声で「はい」と返事をし、元気よく新生活の一步目を踏み出しました。

市内4小学校入学生数

▷平沢小学校	46人	▷金浦小学校	13人
▷院内小学校	5人	▷象潟小学校	40人



▲右上：院内小学校 左下：象潟小学校 中央：平沢小学校 右下：金浦小学校

白瀬南極探検隊記念館 入館者80万人達成！

開館から36年、これからも偉業を伝え続ける



4月12日、白瀬南極探検隊記念館の入館者が80万人に到達し、記念セレモニーが行われました。

当日80万人目の入館者となったのは、仙北市在住でいとこ同士の若生悠月さんと安井薫子さん。にかほっぺんやスノーファイターNOBUが見守る中、市長らとともにくす玉を割ったあと、ペンギンのぬいぐるみやオリジナルTシャツなどの記念品が贈呈されました。これからも地域の偉人の功績を伝える貴重な施設としての役割を果たしていきます。

叙位

従五位 (元にかほ市議会議員)
故飯尾 善紀 さん (立居地)

表彰

永年勤続退任民生委員・
児童委員表彰
小松 朋子 さん (両前寺)

にかほ市教育委員会表彰

▷個人 / ▷第48回未来の科学の夢絵画展奨励賞

／北寺奏介 (平沢小)、
加藤由梨 (平沢小)、中
大谷苺香 (平沢小)

各種大会結果

第29回本荘由利地区
春季小学生
バレーボール大会
②象潟バレーボールス
ポーツ少年団

100歳長寿

長寿祝状・祝金贈呈

4月10日、兼松セツ
コさん (小滝) が100
歳の誕生日を迎えられ、
市から祝状と祝金が贈呈
されました。これからも
末永くお元気で過ごして
ください。



兼松セツコさんとご家族

その他

5歳児健診でむし歯の
なかったおともだち

池田望乃、三浦柚月、工藤柚月、佐々木遥躍、佐藤真乃、池田楓、小松ひなた、竹内鹿乃、須藤伶菜、佐藤瀧、湯本湊斗、高橋叶人、高橋叶希、小柳晴